

昭和40年

10

# 広報 県民の友

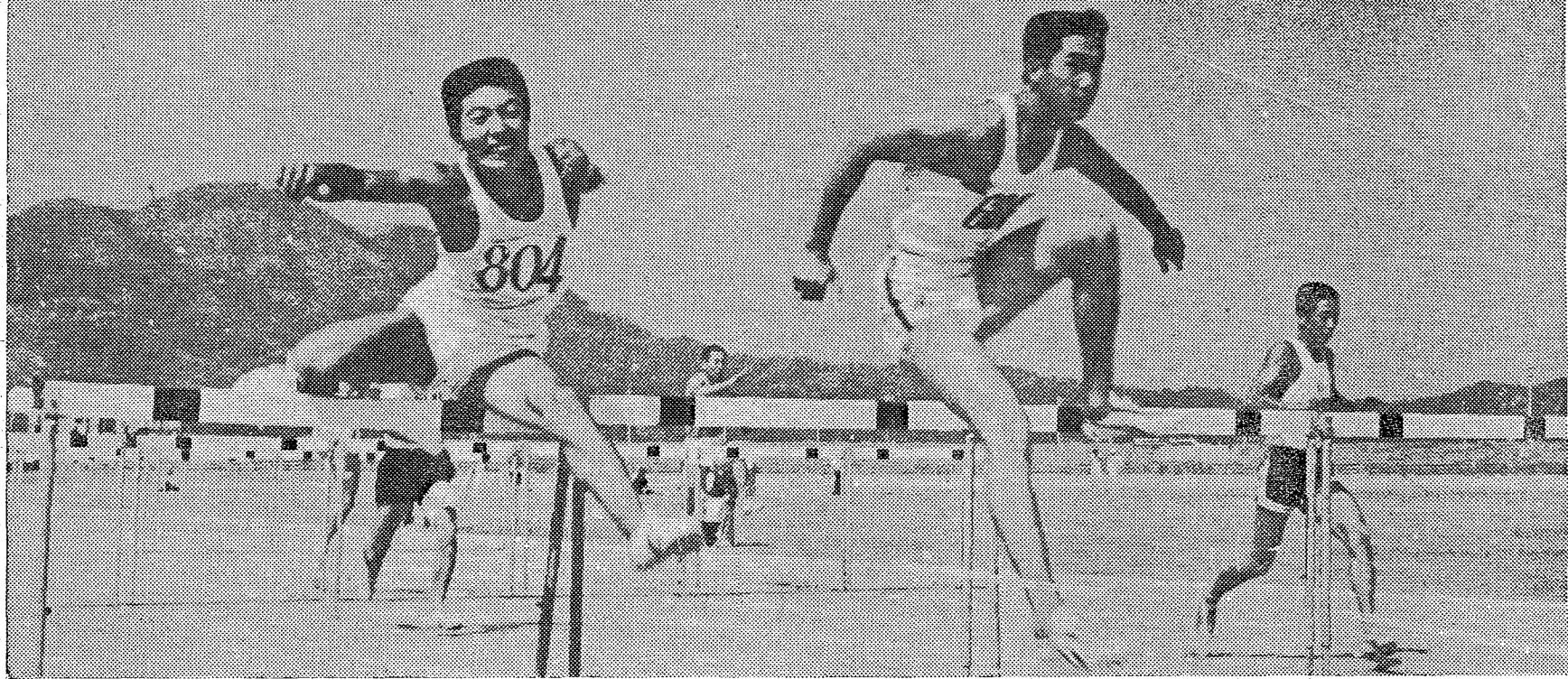
毎月1日発行 第330号

発行所 和歌山市小松原通1丁目1番地 和歌山県

発行人 広報課長 前田正義

印刷所 和歌山新聞社

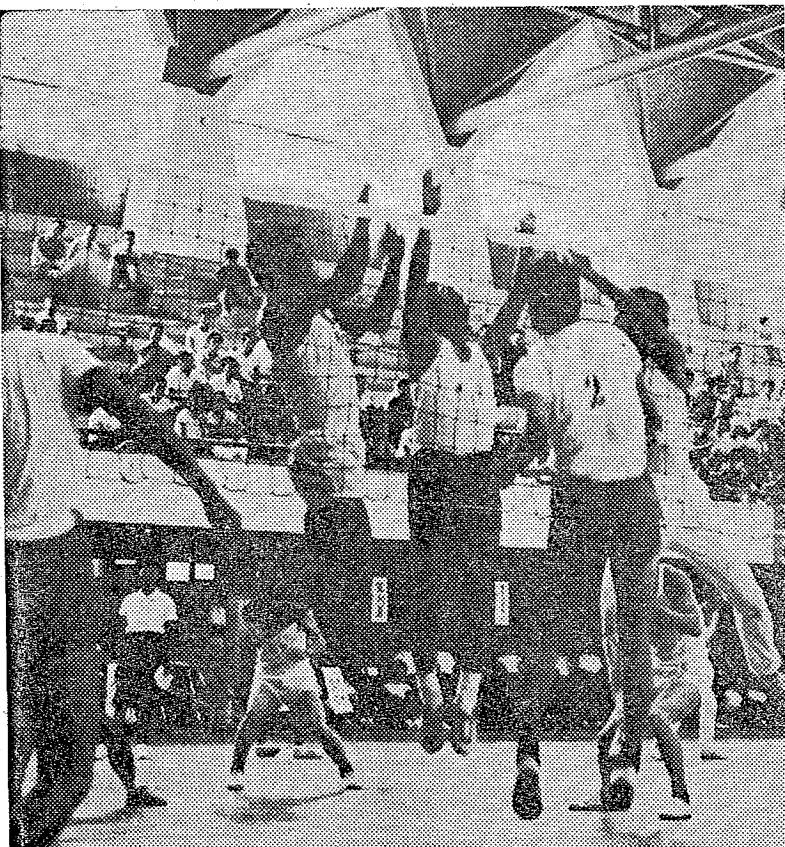
## スポーツで明るく



記録にいどむ…ハーダル競走

スポーツマンシップを胸深く…行進→

チームプレーの花…バレー



東京オリンピックの開催を契機にして、本県のスポーツ界も著しい発展をとげまいりました。スポーツの振興には優秀な指導者のかくはんと養成、組織の充実強化、そして体育施設の整備拡充が必要あります。

ふやすスポーツ人口

持本県としてはスポーツ人口を広めるため、その組織化に力を入れてきました。すなわち、会社工場や官公署のスポーツの振興をはかるため、和歌山県職場体育連盟を結成、現在県内の二十九の職場が加盟しています。

また農山村など地域の体育やス

ポーツの振興をはかるため都市または町村の体育協会の設立を促進し、その成果をあげています。

さらに、現在県内に百九团体、千

葉山に県民プールの建設が計画され、五十箇競泳プール、飛び込みプール、子ども用プールなどがつくられることになっています。

紀南にもセンター

一方、日本体育協会および県、田辺市が一体となって青少年のための総合スポーツセンターが、田辺市に建設されることが本決

運動を県下に展開することにして

体力づくり運動

私たち、体育やスポーツをそれの健康の保持増進のため、自己に適したものを探り、これを毎日仕事の余暇に継続してやることが、これが、近づく県民

あります。このため、百万県民が

こそって体力づくりに専念しても

らえるよう、近く体力づくりの県民

います。

九百人のいる青少年が地域を心としてスポーツ活動をつけています。このように和歌山県のスポーツは、飛躍しようとしているのです。

### 続々新しい施設

本県のスポーツ施設もここ、二年間に渡りつぱなものが

できました。すなわち、昨年四月に紀三井寺運動公園が完成し、その中に公園競技場、テニスコート、球場があり、また同じ芝には屋内

施設は、他府県に比べても決して劣るものではありません。八月二十九日と三十日に開催した

大会は、金塚下から千七百人に及ぶ地方の代表によってはまなし

いせつないじです。去る八月二十九日と三十日に開催した

大会は、金塚下から千七百人に及ぶ地方





